

道徳学習指導案

令和4年5月18日

指導者 2年担任

1 主題名 「法やきまりの意義」「C-10 遵法精神、公德心」

教材名 「オーストリアのマス川」出典（あすを生きる 2）

2 本時のねらい

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守ると共に、そのよりよいあり方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めようとする実践意欲や態度を育てる。

3 展開

	学習活動	主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1. 無法地帯について考える。すべてのパワポを見せ、確認したあと、マフィアの写真を黒板に貼る。 →その後、右の発問	それぞれの写真に対して、場面・状況と感想を言わせる。 ○法やきまりを守らないとどうなりますか。 (出てきた意見を板書する)	・安心安全はない ・人が殺される ・ものが盗まれる ・人の心も荒んでいる	・パワーポイント（無法地帯の写真数枚） ・写真掲示（1枚） 外国の無法地帯の写真を見せて、法やきまりが守られない場所ではどのような生活になるのか想像させる
展開 前段	2. 教材を読む。読んだ後に、黒板にグレーリング2枚の写真を貼る。 3. あらすじを言わせる 4. 教材の内容について	・時間軸、対象軸、条件軸、本質軸を元に発問する。		・教師範読（または生徒） ・あらすじを言わせることで、全員の理解度を高める。 ・<u>時間軸</u>（過去未来） 僕の過去 未来（魚を放つ場合、放たない場合の予想される未来を考える）
後段	5. 人の心の中にいる天使と悪魔について考える			・<u>対象軸</u>（場面） 僕の別の場所での行動（釣り以外でもルールを守る人か） ・<u>条件軸</u>（人物） 他の人も、誰も見てないからと魚を捕ったら？（魚がいなくなり、皆が釣りを楽しめなくなることを考える） 誰かが僕を見たらどう思う？（捕る場合、捕らない場合） ・<u>本質軸</u> きまりは必要ですか？ きまりを守る人、守らない人に自尊心はあるか？ ・誰も見ていないことを押さえる
	6. 法や決まりの意義について考える（学校や社会では） ・トイレのスリッパを並べること（写真） ・トイレの使い方 <u>※人が集まる所には法や決まりがあり、みんなが守ることで規律が保たれ、みんなが過ごしやすい社会になることに気づかせる</u>	○法や決まりって何ですか？	・自分たちが安心して過ごせる。 ・自分たちを守る ・みんなが過ごしやすくなる ・みんなのことを考えて決めたもの	

				・公德心は「自尊心」と「周りを思う心」で成り立っていることを押さえる。そういう人が多くなると社会は良くなる。 ・<u>こういう人になりたいという理想を持たせる</u> ・中心発問は、時間を取り、ノートに書かせる。（全員起立して）発表。
終末10分	7. 授業の感想を道徳ノートに記入 視点①新たに分かったこと②これまでの自分は？③友達の意見を聞いて思ったこと④これからの自分はどうか（②と④は必ず書く）			②と④を書かせることで、生徒の事前事後が分かる。 ・最後に2, 3名感想を発表させる。

4 評価（発言や道徳ノートから見取る）

○道徳的価値の理解を通して、自己と重ね合わせ、よりよい行動を取りたいという実践意欲が高まったか。

板書計画

第〇回

主題名 法やきまりの意義

教材名 オーストリアのマス川

グレーリ
ングの
写真

グレーリ
ングを網
に入れて
いる絵

天使と悪魔
の絵

マフィアの
写真

法やきまりを守らないと ↓未来 自分さえ良ければいい
 ・安心安全がない 免許剥奪 せっかく捕まえたのに
 ・物が盗まれる 心に罪悪感が残る
 ・人が殺される 魚を放つ →ルールだから
 ・人の心が荒れる ↓未来 釣り人としての誇り
 ・汚くなる 自分への誇り
 これからも周りから信頼される

自尊心＋周りを思う心
＝みんなが過ごしやすい社会

問 法やきまりとは？

- ・自分たちを守る
- ・みんなが過ごしやすくなる
- ・みんなのことを考えて決めたもの

※結果や将来を考えさせる